

簡易測量器の作り方

1. 準備するもの

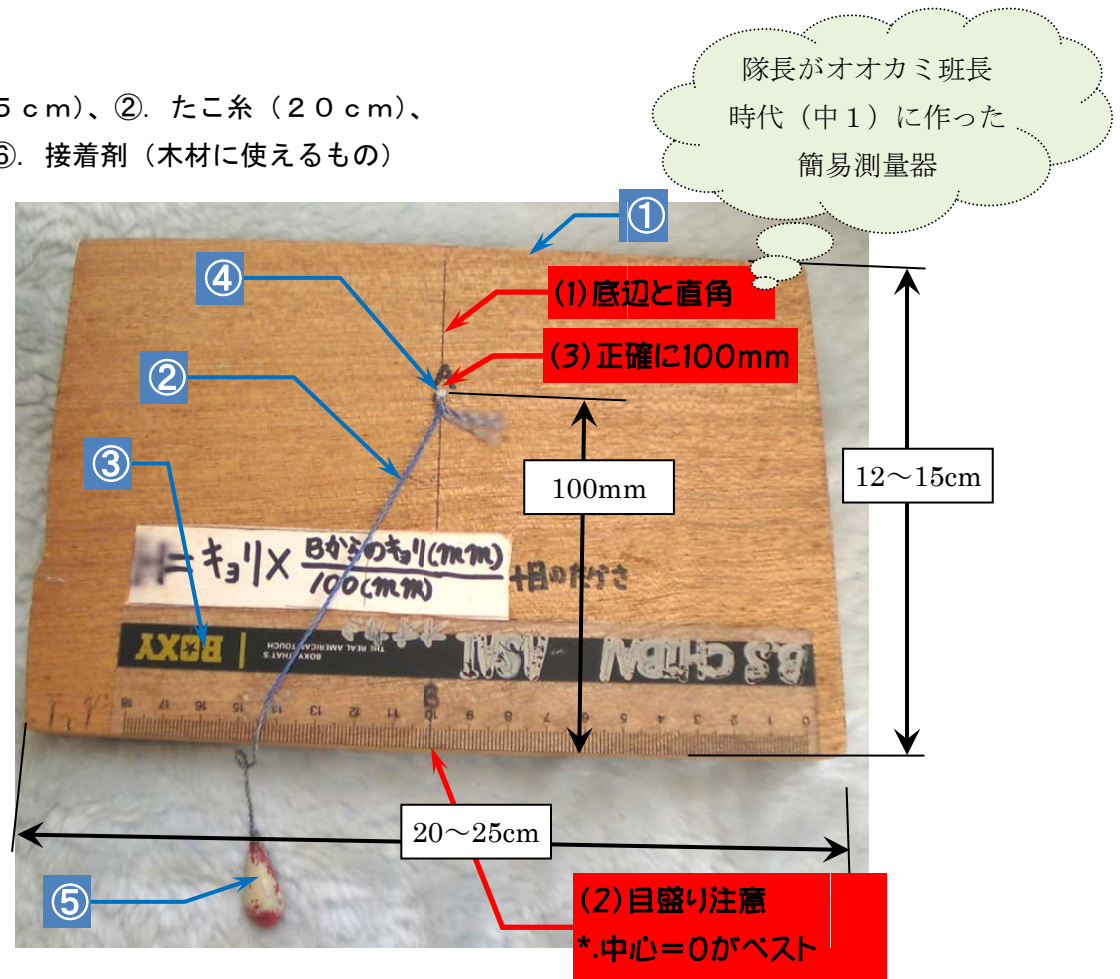
- ①. 板（横：20～25cm、縦：12～15cm、厚：1～1.5cm）、②. たこ糸（20cm）、
- ③. 直定規（20cm）、④. くぎ（1cmくらい）、⑤. おもり、⑥. 接着剤（木材に使えるもの）

2. 作り方

- (1) ①板を横長にみて、中心に**底辺と直角**に縦に直線を引く。
- (2) ③直定規を**目盛りを底辺に向けて**、①板の底辺に合わせて、⑥接着剤で貼り付ける。このとき、0「ゼロ」または10の目盛りを、(1)で引いた直線に合わせる。
- (3) (1)で引いた直線上、底辺から100mmのところに印を付ける。
- (4) ②たこ糸の片方の端に⑤おもりを結びつける。また、反対の端を④くぎに結ぶ。
- (5) (4)で②たこ糸を結びつけた④くぎを、(3)で付けた印に打ちつける。

3. 使い方（次ページの図参照）

- (1) 測量器の上の角を、自分の目に当てる。
- (2) 測量器の上辺の先を延長した先が、測りたいもの（高さ）に合うようにする。
- (3) このときの糸が指す位置と直線からの距離を（定規の目盛り）を読み取る。
- (4) 「測りたいものまでの距離（m）」×「(3)の距離（mm）／100」＋「自分の目の高さ（m）」＝「測りたいもの高さ（m）」となる。



$$H(m) = L(m) \times X(mm) / 100(mm) + h(m)$$

- * 「L」(距離)の測り方は、SHBを見てみよう。
- * 「X」を(cm)で計算するときは、「100(mm)」を「10(cm)」とする

